

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

和寒町教育委員会

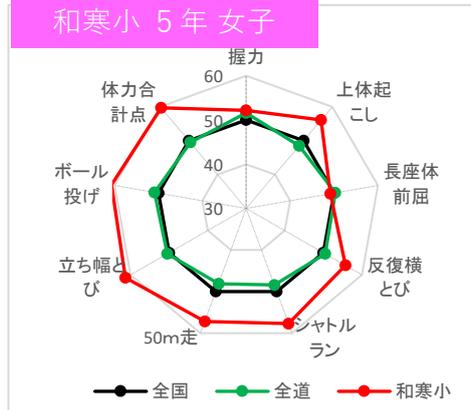
項目別T得点

「T得点」：全国平均値(50)に対する相対的な位置を示したものの

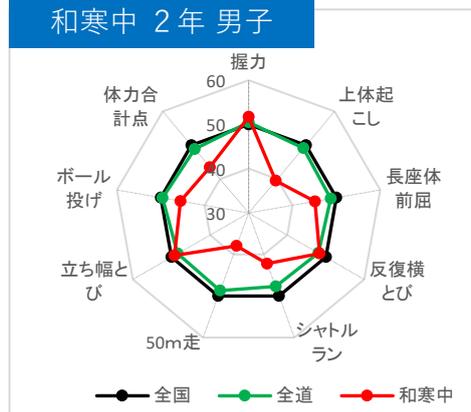
和寒小 5年 男子



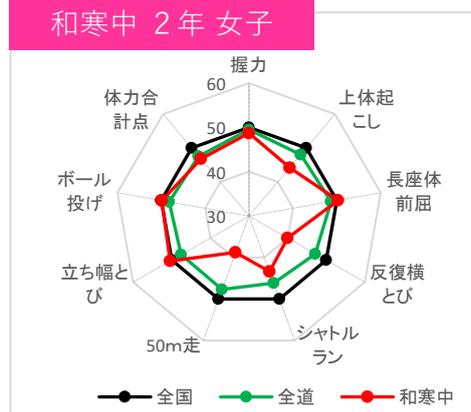
和寒小 5年 女子



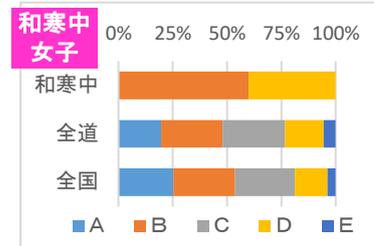
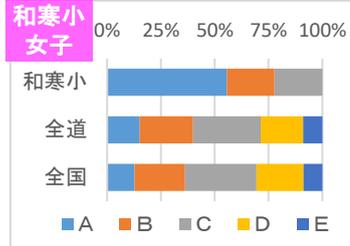
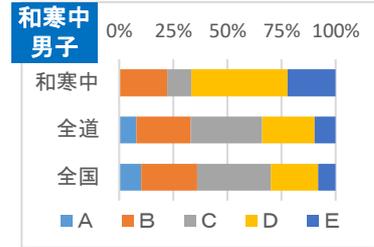
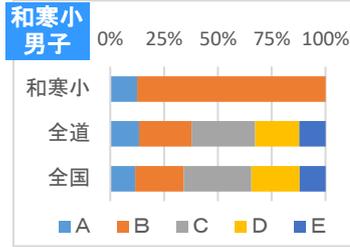
和寒中 2年 男子



和寒中 2年 女子



体力合計点 総合評価

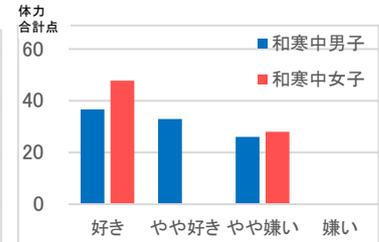
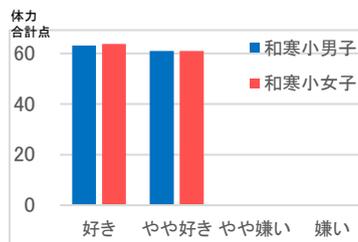


総合評価 基準表

	A	B	C	D	E
小学校	65以上	58~64	50~57	42~49	41以下
中学校	57以上	47~56	37~46	27~36	26以下

クロス集計

運動の好き嫌いと体力合計点



令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査が、全国の小学校5年生と中学校2年生を対象に行われ、令和8年1月に調査結果が公表されました。この調査は、児童生徒の体力・運動能力や運動習慣の向上に関する学校や教育関係機関の取組の成果と課題を検証し、改善を図るために実施されているもので、実技に関する調査と質問調査が行われます。

全国的な傾向としては、「この数年間の傾向については、男子では総合評価C以上の割合が少しずつ増加しているが、女子では横ばいで推移している」(スポーツ庁)との見解が示されました。

和寒町の児童生徒の実技調査の結果については、小学校の結果が男女とも、ほぼ全ての項目(種目)において全国平均を上回りました。中学校では、1~2項目(種目)が全国平均を上回りました。運動習慣や生活習慣等の質問調査では、「運動やスポーツをすることが好きですか」の設問に肯定的な回答をした児童生徒の割合が小中学校の男女ともに全国平均を上回りました。また、体力合計点・総合評価と「運動やスポーツをすることは好きですか」の設問への回答の関係では、「運動やスポーツが好き」と答えた児童生徒ほど体力合計点や総合評価が高くなる傾向が見られました。これは、全国的にも同様の傾向が見られました。

これらの結果を受け、和寒小学校・和寒中学校では、児童生徒の体力・運動能力の向上や生活習慣の改善に取り組みます。